

<ニュースリリース>

大阪・関西万博にて体験型 VR シューティングゲーム

『わくわく！野菜でカラフル VR！』を展示

ゲーミフィケーションやエンターテイメントで生活者の健康づくりをサポート

カゴメ株式会社(代表取締役社長:山口聡、本社:愛知県名古屋市)は、生活者の健康づくりをサポートするために、野菜摂取量の増加に貢献できるよう、ヘルスケアデータの活用に加え、ゲーミフィケーション、エンターテイメント要素を組み合わせたサービスの開発・提供にも取り組んでいきたいと考えています。

この取り組みの一環として、経済産業省の「令和 5 年度補正 PHR* 社会実装加速化事業(情報連携基盤を介した PHR ユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業)」に参画し、PHR サービスを創出しました。大阪・関西万博において、6/24(火)~7/7(月)の期間、体験型 VR シューティングゲーム『わくわく！野菜でカラフル VR！』を展示いたします*。

* PHR=Personal Health Record(個人の健康医療情報)

* 事前予約が必要です <https://phr-cycle.meti.go.jp/ja/portal/services/usecase-details?id=66>

『わくわく！野菜でカラフル VR！』 ※展示期間:6/24(火)~7/7(月) (大阪・関西万博会場で体験可能)

本ゲームは、VR を使って参加メンバーの体内に潜入し、体内に潜む“悪い敵”と戦うシューティングゲームです。NTT ドコモが提供する「健康マイレージ」、カゴメが開発した野菜摂取習慣化アプリ「ベジクエスト®」、そして野菜摂取レベル(推定野菜摂取量)が分かる「ベジチェック®」と連携して楽しむことができます。「健康マイレージ」に記録された健康情報をもとに現れる敵に対して、「ベジチェック®」の結果に応じてパワーアップする「ベジタブルガン®」を使って立ち向かいます。

ゲーム感覚で楽しみながら、健康的な生活習慣を身につけることができる、新しい体験型コンテンツです。

※楽しみ方はこちらをご覧ください。 https://healthcare.kagome.co.jp/banpaku_to_c_wakuwaku_vr



※「ベジタブルガン®」を使って、体内に潜む敵と戦っている様子

【ゲームに登場する敵(3種)】



「健康マイレージ」との連携 ※アプリの提供期間:5/7(水)~7月上旬(予定)

NTT ドコモが開発した「健康マイレージ」は生活習慣を把握し、自身の健康状態の推定スコア(免疫力/血圧上昇習慣/からだところの健康など)やこれらの改善ミッションを提供するアプリです。

このアプリに記録された健康情報をもとに、敵の種類や強さが決定されます。

「ベジクエスト®」との連携 ※アプリの提供期間:5/8(木)~8/7(木)

ゲーム感覚で楽しみながら、野菜摂取の習慣化を身につけられるアプリです。

アプリ内で家族や友人とパーティーを組み、毎日食べた野菜の量を「ベジハンド®」(1ベジハンド=約60g)という単位で記録していきます。

野菜を食べると「ベジエナジー®」がたまり、満タンになると体内にひそむ“悪い敵”に攻撃できるようになります。敵を倒すと、敵からの攻撃をバリアする「ベジバブル®」を獲得できます。「ベジバブル®」は、別のコンテンツ「わくわく! 野菜で VR!」で使用可能で、敵との戦いを有利に進められます。

▽「ベジクエスト®」のダウンロード方法

(APPストア)

<https://apps.apple.com/jp/app/ベジクエスト/id6739559645>

(PLAYストア)

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.kagome.veggie_quest_app



「ベジチェック®」との連携:

手のひらを小型センサーに約30秒押し当てただけで野菜摂取レベル(推定野菜摂取量)を測定できる機器です。

野菜に多く含まれる「カロテノイド」という成分の量を測定しています。カロテノイドは、特に緑黄色野菜に豊富に含まれており、食べることで体に吸収され、2~4週間ほどかけて皮膚にも蓄積されます。この機器は、その皮膚に蓄積されたカロテノイドの量を測ることで、野菜をどれくらい食べているかを推定しています。

大阪・関西万博会場の展示会場において、野菜摂取レベルを測定いただきます。その野菜摂取レベルに応じて、VRで使用する「ベジタブルガン®」の強さが変化します。



<報道機関様むけのお問い合わせ先>

カゴメ株式会社 コーポレート企画本部 経営企画室 広報グループ 北川・堀江 TEL:03-5623-8503